

教育 広報 いわき

編集発行
福島県教育庁
いわき教育事務所
発行責任者
菊池篤志
編集協力
いわき市教育委員会

ふくしまの復興・再生 ～こころ豊かなたくましい人づくり～



「確かな学力」を身につけさせます

各学校においては、2つ（「ロングスパン」「ショートスパン」）のPDCAサイクルを構築し、児童生徒の学力向上のために、徹底して日々の取組を進めてください。
今年度の研修等の成果を授業改善に結び付けるとともに、今すぐできることに全職員一丸となって取り組むことが大切です。

- ～「平成28年度全国学力・学習状況調査」に向けて～
- 4月までに全小・中学校で取り組んでほしいこと
- 1 過去の問題に取り組む。
 - 全国学力・学習状況調査
 - 定着確認シート（主に学校の授業等で活用を…。）
 - フォローアップシート（主に家庭学習で活用を…。）
 - 2 役割分担を明確にした計画を作成する。

〈今年度の取組〉

1. 算数・数学 学力向上のための授業改善研修会
全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、自校の課題をもとに、算数・数学の学力向上に向けた授業改善の視点や方策について協議し、指導力向上を図ることを目的に実施しました。いわき域内の全小・中学校の教員を対象に校種ごとに研修を行いました。

●**ラウンドテーブル**
参加者が持ち寄った、主に知識・技能を活用する問題（全国学力・学習状況調査の「B問題」に近い問題）の内容やその活用の仕方について、真剣に検討・協議する先生方の姿が見られました。協議を通して、本県の課題となる児童生徒の数学的な思考力・表現力等を高める授業について研修を深めることができました。

- 〈ラウンドテーブル〉
- ① 持参した問題を解く。
 - ② 問題の説明をする。
 - ③ 感想・意見を述べる。
 - ④ 授業で使えるより質の高い問題にするための協議をする。
- ※①～④までを、班員が持参した問題についてすべて行う。

●**研究授業参観と事後協議会**
小・中学校それぞれのコアティーチャーが、「B問題」を用いて活用力を高めることをねらいとした授業や、子ども達の多様な考えを引き出し練り上げていく授業を行いました。参加者は、授業者の教材研究の深さや思考力・表現力を高める言語活動の充実等、多くのことを学びました。特に、児童生徒を引きつける導入の工夫、児童生徒の考えの引き出し方、教師のコーディネート力のすばらしさに、大



自他の考えを読み取ったり説明したりする授業（小学校）

いに刺激を受けていました。
●**行政からの説明**
全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、授業改善の視点や方策等について説明しました。



全国学力・学習状況調査の「B問題」を用いた授業（中学校）

今後、各学校が授業改善のイメージをもって日々の授業に生かしていけるよう、継続的に支援していきます。

2. 「定着確認シート」の効果的な活用方法
今年度の「定着確認シート」は、一層の効果的な活用を図るため、第3回以降、各学校が個人のデータを入力することにより、児童一人一人の成績を管理できるデータ個票システムが付加されました。児童生徒の現在の学力状況や変容を把握し、個に応じた指導の充実を図ることが可能となりましたので、ぜひご活用ください。

なお、これまでの実践協力校の取組（本年度は勿来三小と川部中）については、県教委のホームページで見ることができます。

3. 「つなぐ教育」推進事業
今年度の学力向上のための「つなぐ教育」推進事業は、小名浜第一中学校、江名中学校を拠点校とし、両校の学区内の小学校を推進協力校として、合計8つの小・中学校で展開しています。
児童生徒の望ましい学習・生活習慣の確立と学力の向上をめざして、小中連携による研究授業や学びの手引き等の作成、教育講演会の開催等、様々な取組を展開しています。詳しい内容については、2月の成果報告会で発表します。

「以和(為)貴」(和を以て貴しとなし)

いわき教育事務所長

菊池 篤志



「いわき」という地名の由来については、「石」の砦(石に城)、「ユ(湯)ワキ(涌)」、アイヌ語「イワ・ケ」(岩のところ)、木の化石や石炭の出る場所の意「イワ(岩)キ(木)」などの説があります。また、最近目にして「なるほど」と思ったのは、「以和(為)貴」という「十七条憲法」第一条の一部分に結び付けて「いわき」と読ませるといったものです。

今、いわきは大きく発展しようとしています。その中で、人の和が大きな力となって働いており、教育においても、いわき教育事務所、いわき市教育委員会、小・中学校長会他さまざまな機関・組織が一体となって多くの施策を進めています。各学校においても、素晴らしいチームワークで学校運営が進められているのを、訪問等で実感することができました。まさしく「以和(為)貴」ではないかと思えます。

ただ、心配なこともあります。和を優先するあまり、課題に対して鋭いメスを入れることを嫌ったり、建設的な意見や自分が抱えている大きな課題を持ち出すことを避けたりする傾向になりがちなことです。それによって、各人の悩みが埋没し、自分で解決しようとして解決できず、大きな問題になってから他の者が気づくということになります。

以上のような「以和(為)貴」のマイナス部分について、なんと「十七条の憲法」第十七条で次のように解決策を掲げているので驚きます。

十七日、夫事不可独断。必與衆宜論。少事是輕。不可必衆。唯速論大事。若疑有失。故與衆相辨。辞則得理。(十七にいう。ものごとは一人で判断すべきではない。小さなことはみんなで論議しなくてもよい。ただ、重大なことは、判断をあやまることあるかもしれない。そのときは、みんなで検討すれば、道理にかなう結論が得られるだろう。)

つまり、大きくなりそうなことは、個人で抱えて一人で判断するのではなく、みんなで議論して進めた方が良いと語っています。今の学校の組織に必要な教訓となりそうですね。

「学校における人間関係、特に教職員同士のコミュニケーションを密にし、職場のセーフティネットの機能を高める」(福島県教育委員会「信頼される学校づくりを職場の力で」)ことが大切なのです。

「十七条の憲法」、おそるべしです。一度、全条をご一読ください。我々教職員(公務員)にとって、参考になる内容が盛りだくさんです。

総務社会教育だより

《地域防災力向上支援プログラム事業》

3年目をむかえるこの事業は、地域の防災拠点である公民館等社会教育施設における防災体制の整備・充実に支援するものです。10月19日の基礎編研修では、平時からの地域コミュニティづくりが重要であることを、講義・事例発表から学びました。11月13日の実践編研修では、学校現場での防災教育の紹介と、「地域の防災力を高めよう」という演題で講義・演習を行いました。地域と連携した取組が求められていることや、過去の災害時における避難所運営の課題を基に、ニーズに応じた運営を考えていかなければならないことを学びました。地域のつながりが、防災・減災には欠かせないことを再認識することができました。

《地域でつながる家庭教育応援事業》

この事業は、本県の家庭教育推進上の大きな課題である「親の学び」を支援するために、PTA等関係団体と連携し、いわき地域における家庭教育の推進及び地域教育力の向上をめざしています。

親の学びを応援する事業として、モデルPTA校である好間第一小学校と小名浜第二小学校で「親の学び応援講座」を開催するとともに、家庭教育に協力していただける応援企業の参加募集も合わせて進めており、2月1日現在、19社から協力をいただいているところです。今年度だけにとどまらず、来年度につながる事業の展開を心がけています。

「豊かなところをはぐくみます」

～道徳教育推進校の実践～

県では、平成24年度から地域に根ざした道徳教育を推進するため、推進校を指定しています。今年度は、小川中が指定を受け、中教研においてその一端を公開しました。

下の写真は、10月に上越教育大学大学院教授早川裕隆先生をお呼びして、3年生を相手にモデル授業をしていただいた時のものです。「おばあちゃんのさがしもの」という資料を用い、役割演技を取り入れながら、実感的理解を図り、道徳性を養いました。早川先生の「(役割演技を) 見ている者にはどう見えたか。」「(役割を演じた) 本人たちは、どんな思いで演じたか。」等の発問に対し、活発な議論が行われました。



また、授業後には、「道徳の教科化に向けた道徳授業のあり方」という講話をいただきました。

道徳の教科化への取組は、喫緊の課題ですので、今後も地区別推進協議会等で情報提供を図っていきます。



管理担当より

学校事故防止に向けた取組をお願いします。

冬季間の交通事故防止に万全を

- 法定速度を守っていますか。
- 時間にゆとりをもって通勤していますか。
- 車間距離を十分にとって運転していますか。
- 普通タイヤで大丈夫だと過信していませんか。

学校火災事故防止に万全を

- 日々の巡視確認は確実にできていますか。
- 安全点検、防火診断はマンネリ化していませんか。
- 火気始末の重層チェックはできていますか。

個人情報の管理に万全を

- 校内規定に従って個人情報を扱っていますか。
- 個人情報を、学校外へ持ち出していませんか。
- 個人パソコンに、個人情報は残っていませんか。

「健やかな体をはぐくみます」

～ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト～

今年度実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、全県的に改善傾向が見られましたが、「いわき・相双」域内は、県平均と比較すると、中学2年で0.1ポイント程度下回り、小学5年では1ポイント以上下回る厳しい結果となりました。

今年度、本県では望ましい運動習慣や食習慣を形成し、体力の向上及び肥満解消を図ることを目的として、以下の6つのプロジェクトを一体的に展開しておりますので、継続しての指導をお願いします。

- 本県独自の「運動身体づくりプログラム」の活用
- 児童生徒の12年間にわたる継続調査の実施
- 自分手帳の活用(健康診断結果と体力・運動能力調査の一元管理)
- 体育の授業への専門アドバイザー派遣(小学校)
- 運動部活動への外部指導者派遣(中・高等学校)
- 健康な体をつくるための食育の推進

上記プロジェクトのうち、特に下記の2つの事業については更なる活用をお願いします。

〈「自分手帳」の活用〉

「自分手帳」は、小学校1年生から高校3年生までの健康診断結果や、体力・運動能力調査の結果等を一元管理するものです。運動習慣や食生活を改善しようとする態度を育成するため、授業での活用、家庭への情報提供をお願いします。

〈体育の授業への専門アドバイザー派遣〉

「小学校体育専門アドバイザー」が、市内の全小学校を支援しています。今後も児童に体を動かす楽しさを感じさせたり、発達段階に応じた体づくり運動の具体的な方法を提案したりするなど、学校と連携して授業をサポートしてまいります。

募集 教員免許等お持ちの方をご紹介します!

平成28年度、いわき市内の公立学校(小・中学校、高等学校)の臨時的任用教職員及び非常勤講師の希望者を募集しています。

○区分

- ①臨時的任用教職員
- ②非常勤講師

○内容

- ①欠員補充や産前産後休暇、育児休業、退職等の代替のために、臨時的に勤務する常勤の講師及び養護教諭、事務職員、栄養職員

- ②あらかじめ定められた教科の授業を行う等の非常勤の講師

問い合わせ先/いわき教育事務所管理担当
☎0246 (24) 6216



中高交流2年目を迎えて

いわき市立湯本第一中学校
教諭 竹中 睦

「高校との違いは何ですか」とよく聞かれます。違いは非常に多く、特に1年目の昨年は驚くことの連続で、違いばかりが目につきました。これらの違いは、生徒の幼さゆえの素直さや心の柔らかさ、旺盛な学ぶ意欲で何事にもひたむきに努力する姿勢によるものであり、高校生よりもピュアな感性に感動することも多々ありました。

そして、体育祭や音楽祭等の行事や、生徒との日々の触れ合いの中で気づいたのです。たとえば様々な違いがあっても、教員として目の前にいる生徒と真摯に向き合い、ともに笑い、考え、人としての正しさを追究することには何も変わりはないということ。さらに、進路のことで悩み、真剣に将来を見据えて学ぶ生徒たちの眼差しにも、変わりはないのだということ。

声をかけるたびに成長していく生徒たちに、あらためて、教育とは生徒たちを見つめ、心と心を通わせることなのだと思ふ2年間でした。



教員として6年目に思うこと

いわき翠の杜高等学校
教諭 黒澤 広樹

毎日が忙しい。とにかく時間がない。教師として採用されてからすでに5年が過ぎ6年目を迎えた現在でも、朝出勤してから夕方退勤するまで息をつく間がほとんどない。

だが、これは不満ではない。自分の授業や部活動をよりよいものにしようとあれこれ動いている結果なのだ。もちろん学校では様々なことがあり、それに対処すべく動かなくてはならないことの方が多い。それでも絶えず前進しようと思っていられるのは、採用された同期達の活躍を見ているからである。

今年の秋に行われた経験者研修Iで、同期達の成長を目の当たりにし、驚きを隠せなかった。それぞれの学校で生徒達に全力で向かいあってきた成果なのだろう。初任者研修の頃には見られなかった確固たる自信と余裕があった。

次に迎える経験者研修IIで同期達に胸を張って再会できるよう、今日の前にいる生徒達と正面から向かい合いたい。その姿を見せることで生徒達も成長してくれるものと信じている。

総務担当より

「児童手当について」

中学校修了前（15歳に達する日以後最初の3月31日までの間）の子を養育している方には、児童手当が支給されます。子どもの出生など、受給資格を備えたときは、その日の属する月の末日まで（月末の出生などやむを得ない場合は事実発生日から15日以内）に、認定請求書を所属担当者まで提出してください。新規認定時は、所得制限限度額の確認のため、「所得証明書」等の提出が必要です。

児童手当の支給額

児童の年齢	手当額（1人あたり月額）
3歳未満	一律 15,000円
3歳以上 小学校修了前	10,000円 (第3子以降は15,000円)
中学生	一律 10,000円

※手当を受ける人の所得が所得制限限度額以上の場合は、「特例給付」として、月額一律5,000円が支給されます。

各種表彰(敬称略)

◆文部科学大臣教育者表彰

沢 宏一(平一小校長)

◆学校教育功労者表彰

沢 宏一(平一小校長)

◆文部科学大臣優秀教職員表彰

北原 由江(平五小教諭)

◆学校保健功労者表彰

山崎 隆博(草野中歯科医)
阿部 正敏(入遠野小薬剤師)

◆永年勤続表彰

84名
(小33名 中24名 高・特27名)

◆第44回福島県教職員研究論文表彰

入 選 徳永 一夢(泉北小教諭)

◆ふくしまっ子ごはんコンテスト

優秀賞 高野 雄都(平三中1年)
佳作 松澤 美結(小名浜東小4年)
佳作 高倉 大和(中央台南中1年)

◆十七字のふれあい事業

最優秀賞 岩間 祐果(湯本二中1年)・真紀子(母)
優秀賞 坪根 未空(藤間中2年)・智恵子(母)
佳作 坂本 凌飛(夏井小5年)・文代(母)



◆算数・数学ジュニアオリンピック

- 金メダル 関内 悠輝(郷ヶ丘小6年)
- 銀メダル 酒井 宏樹(中央台北小5年)
- 山野遼卓翔(豊間小6年)
- 冨塚陽奈子(好間二小6年)
- 赤津慶一郎(植田小6年)
- 鈴木貫太郎(いわき秀英中2年)
- 中村 元気(中央台北中3年)
- 銅メダル 大槻 歩夢(勿来二小6年)
- 長瀬 和真(藤間中1年)
- 藤田笙一郎(いわき秀英中2年)
- 新家 由久(平三中3年)
- 石川 優樹(入遠野中3年)

奨励賞(今年度より新設)

- 小宮真希人(泉小5年) 川島 詩穂(高坂小6年)
- 藤枝 碧斗(鹿島小6年) 芳賀寿々奈(泉小6年)
- 正木 萌楓(泉小6年) 山梨 真拓(磐崎小6年)
- 松木 王海(菊田小6年) 秋山 奏夢(勿来一小6年)
- 水野 皓太(勿来一小6年) 會田 裕樹(平三中2年)
- 松本 空大(いわき秀英中2年) 小松 丈起(平一中3年)
- 佐藤 玄佳(泉中3年)